

聖風

せいふう

2020年1月号

●発行責任者/院長 森下剛久 ●編集/企画広報室 ●編集協力/プロジェクトリンク事務局

社会福祉法人聖霊会
聖霊病院

〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
TEL 052-832-1181
<http://www.seirei-hospital.org/>

09



院長 Message of the hospital superintendent メッセージ

2020年1月

病院長
森下剛久



聖霊病院の理念「愛と奉仕」

マズローによれば、ひとの欲求は食欲など生理的欲求に始まり、恐怖・混乱のない安全の欲求、家族や友人に囲まれる所属と愛の欲求、社会的な評価を求める承認の欲求、そして自己の能力・可能性が具現化される最も高い段階の「自己実現の欲求」へと進み、これが満たされると高い幸福感が得られる。自己実現を成し遂げるために、自分は何を求めているのか、他人から何を求められているのか、その求めに対する自分に合った自分らしい努力を続けることです。しかし義務や責任だけでは心が苦しくなっていきます。そこに楽しみを見い出しましょう。自己実現の先にあるもの、さらなる高みは「人や社会への貢献」ではないでしょうか。自分が誰からも必要とされていないと感じる時は、一つひとつのことをていねいに心を込めてやってみよう。大切なのは、どれだけ多くのことをしたかではなく、どれだけ愛を込めたかです(マザー・テレサ)。聖霊病院の理念に通じます。

HOT NEWS

当院の看護師教育について。～自己の成長へ繋ぐために～

当院はいのちの始まりから終わりまでの医療を提供する、地域に根ざした総合病院です。看護部では、どのような年齢・状態の患者さんにも看護を提供できる看護師の育成をめざしています。クリニカルラダーに連動した、習熟段階に沿った院内研修を開催し、新人看護師には1年を通し、院内で定期的に技術や知識を習得するための研修を行い

ます。看護師たちは、同期の絆を深め、努力を認め合うことで共に成長しています。また集合研修で学んだことを現場で活用できるよう、病棟では教育担当者を中心にスタッフ全員で個々の性格や特徴に合わせた支援・指導を行っています。そして、2年目以降の研修では、一部、院内留学や地域連携センターでの研修も行い、幅広い視野で「患者

さんに対するより良い看護とは何か」を考えられる看護師育成に繋がっています。今後も、研修での学びをきっかけに「もっと学びたい」と思えるような看護



師教育をめざしていきたいと思えます。
看護副部長
(教育担当)
芝 美樹

病気の基礎知識

知らない間に進行し、最悪の場合、肝硬変や肝臓がんにつながる病気です。

アルコールを原因としない脂肪肝(NAFLD)が注目されています。

脂肪肝とは、肝臓に多量の脂肪が沈着した状態のことです。放っておくと肝炎、肝硬変、さらに肝がんになる可能性があります。脂肪肝には、飲酒によるアルコール性脂肪肝と、飲酒の習慣が無く、飲んでも少量の非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)があります。NAFLDの原因は栄養過多と運動不足であり、肥満、糖尿病、メタボリック症候群などの合併が多く見られます。また、世界各国で4人に1人、日本人では約2,000万人がNAFLDであるといわれています。これまでNAFLDは、肝細胞に脂肪がたまっているだけで病気が進行しないとされる「非アルコール性脂肪肝(NAFL ナッフル)」と、炎症や線維化を伴い肝硬変や肝がんにつながる「非アルコール性脂肪肝炎(NASH ナッシュ)」に分類されてきました。しかし最近では、NAFLとNASHは別の病気ではなく、同じ病気の時期の違いだと考えられています。そして病気の重症度と予後を決める鍵は肝臓の線維化であることがわかってきました。

確定診断と線維化の判定には、肝生検が有効です。



肝臓は臓器のなかでも症状が出にくく「沈黙の臓器」と呼ばれています。そのため、脂肪肝は健康診断の腹部エコーで偶然に発見されることがほとんどです。

脂肪肝が見つかったら、飲酒習慣、生活習慣のチェック、血液検査、画像検査(エコー、CT、MRI)を行います。飲酒習慣がなく肝機能検査値の異常が見られる場合にはNASHを疑います。NASHの確定診断と肝線維化診断には肝生検が必要です。肝生検はエコーで確認しながら生検針を穿刺して肝組織を少量採取します。基本的に1泊入院で行います。近年、肝線維化に関しては肝生検以外にも、超音波、MRIや血液検査でも診断できるようになってきました。しかし、現在もNASH診断のゴールドスタンダードは肝生検です。

消化器内科メッセージ

脂肪肝は、早期に発見し
早期に治療を行えば、
完治することも可能です。

副院長
日本消化器病学会
消化器病専門医
日本肝臓学会
肝臓専門医

藤本正夫



当院では、脂肪肝に対する診断から治療までを一貫して行っています。院内には常勤・非常勤を含め、肝臓専門医がおりますし、各種画像検査機器も整備されていますので、肝生検をはじめとした専門的な診療にも対応が可能です。また、脂肪肝の治療では食事療法が重要になります。常に管理栄養士と協力しながら、患者さんを継続的にサポートしています。

肝臓は、再生能力の優れた臓器です。炎症や線維化が進んでも、ある程度の時期までであれば、修復が可能です。そのためには、できるだけ早い段階で発見し、生活習慣を見直すことが必要です。私の経験では2kg体重が減るだけでも、肝機能は大きく改善します。まずは、健康診断を受けていただき、脂肪肝が疑われる方は、当院を受診していただければと思います。

治療の 基礎知識

原因となる生活習慣や疾患を改善し、取り除くことが何より大切です。

最大の治療法は、 食事療法と運動療法です。

脂肪肝の治療では、食事療法と運動療法が中心となり、薬物療法は補助的な位置づけです。まず、アルコール性脂肪肝の場合は、お酒を控えることが最大の治療法になります。アルコールは高カロリーの物質であると同時に、肝臓内で中性脂肪を作りやすくするという特徴があるため、飲酒を制限することで、大きく脂肪肝を改善することができます。次に、肥満やメタボリック症候群が原因の場合には体重をバロメーターに食事療法や運動療法を行っています。食事については、カロリーや糖質を意識することが大切です。運動は、エネルギーを消費する有酸素運動(散歩やジョギング等)に併せて、無酸素運動で筋量を増やすように心がけるとよいでしょう。



基礎疾患や合併症にも 注意が必要です。

一方、脂肪肝の患者さんのなかには、糖尿病や高血圧症などの疾患を発症している方や、発症するリスクの高い方が多くいらっしゃいます。こうした疾患は、それ自体が危険であるだけでなく、脂肪肝とも密接に関わる疾患です。特に、糖尿病に悪影響を与えるインスリン抵抗性(※)の改善は重要で、インスリン抵抗性が高まると、糖尿病が進行するだけでなく、脂肪肝に伴う高インスリン血症では脂肪を溜め込みやすい体質になりますし、発がんリスクも上がるといわれています。このように、脂肪肝の治療では、患者さんの抱える、基礎疾患や合併症の治療を併せて行うことが大切になるのです。

※肥満などにより、血糖をコントロールするインスリンの効きが悪くなった状態



患者さんと共に、 オーダーメイドの食事療法をめざします。



管理栄養士
蟹江真央

脂肪肝の治療には、食事療法がとても大切ですが、食生活の見直しは辛いことですし、個々の生活環境にも大きく左右されます。そのため、私たち管理栄養士は、一人ひとりに合った無理のない治療プランを提案し、継続していただけるよう、患者さんとじっくり話すこと、一緒に考えることを常に心がけています。

Talk
01

安心して検査が受けられるよう、 環境を整えます。



臨床検査技術科
技師長
小島 宏

脂肪肝を発見・診断し、その進行度合いを確認するには、血液検査や超音波検査、肝生検などさまざまな検査が必要になります。私たち臨床検査技師は、そうした検査に際し、声かけや雰囲気づくりを心がけることで、患者さんが少しでも緊張せず、安心して検査を受けていただけるように努めています。

Talk
02

病院からのお知らせ

第8回聖霊病院地域公開講座を開催しました。

11月30日の土曜日、午後2時から第8回聖霊病院地域公開講座を開催しました。例年は当院の聖霊ホールで開催していましたが、今年はイオン八事さんのGGホールをお借りして地域に出向くスタイルで行い、73名という多くの方にご参加いただきました。今回のテーマは「下痢と便秘」。講演では、まず当院の第一外科部長である江口医師が、便秘の陰に潜む大腸がんなどの病気やその治療方法、便秘の予防法などを詳しくご説明し、続いて、当院の富田薬剤師が、下剤にもいろいろな種類があり、症状、用途によって使い分ける必要があることなど、薬に関するお話をいたしました。おかげさまで、参加していただいた方からは、たくさんの質問を頂戴するなど、盛況のうちに会を終えることができました。ご参加いただいた皆さんと、ご協力を賜りました皆さんに、深く感謝申し上げます。

地域医療連携センター 小原順子



聖霊病院の訪問看護をご存知ですか？

当院の訪問看護は、昭和57年にボランティアとして始まりました。その後、平成10年には専任の看護師を配置し、現在は看護師3名体制で活動しています。訪問看護では、当院の看護師がご自宅にお伺いし、体調が安定して安全に生活するためには何が必要かを考えて療養のお手伝いをいたします。そのなかには、病状の観察や医療機器の管理、医師の指示による医療処置や緩和ケアも含まれます。最期までご自宅で過ごしたいという思いに寄り添い、ご本人やご家族への支援・相談も行っています。対象者はお子さんからご高齢の方まで年齢は問わず、医療保険や介護保険を使ってサービスを提供します。聖霊病院の訪問看護をご希望の方は、お近くのケアマネジャーやいきいき支援センター、当院の地域医療連携センターや各外来へお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 地域医療連携センター 訪問看護室 052-832-1181(代)



新任医師紹介

当院は、2020年1月1日に皮膚科医として常勤医師1名を迎えました。

今後もより一層、地域医療に貢献していきたいと思っております。

皮膚科

甚目航太

(令和2年1月1日～)



看護師・介護福祉士 募集中(常勤・非常勤)!

今まで培った看護師・介護福祉士のキャリアを当院で活かしませんか？優しさと思いやりを大切に患者さん一人ひとりに寄り添う看護・介護を一緒にしましょう。

一度、見学にいらしてください！お待ちしております。



お問い合わせ先 看護師確保対策 加藤 052-832-1181(代)